

## 「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』で表彰を受けました」

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、去る2019年5月9日（木）に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が選定する、2018年度「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取引事例』として内閣府特命担当大臣より表彰を受けましたのでお知らせいたします。

地方創生に向けた金融機関等の取組みのうち、地方公共団体等と連携して行った事例や先駆性のある事例を、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が公表・表彰しており、今回は33の事例が採択されました。

当金庫は今後も社会的公共機関として地域社会の発展に貢献できるよう取り組んでまいります。

### 記

#### 1.取組内容

「ものづくりベンチャー企業」の試作をサポートする『Makers Boot Camp』に対する支援を通じた、京都における『ものづくり企業』の活性化への取組み

#### 2.共同で表彰を受けた金融機関

京都中央信用金庫、京都銀行、ゆうちょ銀行、三井住友銀行、日本政策投資銀行、京都信用金庫、浜松いわた信用金庫

#### 3.取組概要

当金庫含む7金融機関は、株式会社 Darma Tech Labs が管理・運営する「MBC Shisaku 1号投資事業有限責任組合」への出資、同ファンドへの投資候補先の紹介、ベンチャー企業と大企業とのビジネスマッチング等により、ものづくりベンチャー企業の試作をサポートする「Makers Boot Camp」に対する支援を行い、「京都をIoT関連を中心としたものづくりベンチャー企業の拠点」にすることで、地域の中小企業の活性化を図ります。



以上